

投票にいかう 私の思い

「安部降ろし」がさかんに叫ばれている。民心党もその目的のために希望の党に合流した。しかし、政権交代は目的ではなく方法にすぎない。政権をとったら、彼らは具体的にどのようなことをしたいのだろうか？

安部さんについては、森友問題、加計問題などの報道が正しければ、すこしは問題であろう。しかし、私は政治家が清廉潔癖である必要はないと思う。任期期間を大過なく過ごすのではなく、何らかの問題もあっても必要なことを実行する、交渉できることのほうが重要であろう。

実際に、安部さんが退いて、現在の野党が政権をとってうまくいくとは思わない。4年前誕生した民主党政権には私も期待したが、多くの重要事項を決定できず、他国からの妨害にも毅然とできなかった。あの民主党下の政治よりはよっぽどましである。また、それ以前の首相が毎年ごとに交代していた時と比較しても、対外政策も含め一貫性があり、よいように思う。よいか悪いかは比較の問題である。

「安部降ろし」を叫んでいる政党は、なぜいまより状況が悪かった民主党政権時代に、鳩山降ろし、管降ろし、野田降ろしを声高に叫ばなかったのだろうか？それとも、民主党政権下のほうが安全保障も含めて安部政権よりよいと考えていたのだろうか？

私は現状では安部さんの政策に対してある程度疑問をもっているが、消去法で今回も自民党に投票すると思う。そして、一般有権者にはできないことだが、長期政権になってしまった自民党の総裁を交替してもらうことを提案したい。

2017.9.30